
逆転人形

妄想少年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逆転人形

【Nコード】

N5658D

【作者名】

妄想少年

【あらすじ】

ああああ人形様人形様私は卑しい女です。私は卑しい女なのです。いや違うのかも知れません。私はどちらなのでしょう？

嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い
嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い

『逆転人形』

人を殺しました。私が殺しました。

相手は人形でした。私に良く似た人形でした。

それが吊された糸に首を絞められ死んでいました。

私は笑ってしまいました。

所詮人間は人形にはなれないのだとそんな事を思いました。

私は徐に彼女の体を下に引きずり下ろします。

首は異様に長く伸び、糞尿を垂らし、涎を垂らし、汗が溢れ出ました。

彼女は人間に良く似た人形だと思います。

でも人間ならば30分首を閉められただけで、死ぬ筈無いじゃないですか。

でも死んでしまったのだから、これは初めから死んでいたのじゃない。

それより、愛しい人形様

私の願いを聞いて下さい。

私はこの世が嫌いなのです。

私はこの世が憎いのです。

どうかどうか人形様。

私をどうか空へと飛ばして下さいまし。

ああ人形様人形様狂う狂いて狂おしい。我は我我我我の言葉巧みに色が消え、最後の中には私が一人、人形人形人形様人形様人形様様様様様様様付きに私を私をどうかどうかどうか人間に私を人間にしてくださいませえ

首を閉められながら彼女は思った。

いつの間にか自慰していたみたいだった。

気持ちいいのと狂おしいのが混じり合って自分が自分だと分からなくなってきた。

私は誰で誰だったのかすら分からない。

ああゴミ蟲蟲蟲蟲様。

私は卑しい女です。狂っています。

いえ、狂っていません。

あれ？ どちらでしょう？

私は可笑しい女です。

いえ、可笑しくはありません。

私は死にたがりな女です。

いえ、死にたくはありません。

あれ？ どちらなのでしょう？

私はどちらなのでしょう？

私は死んでいるのでしょうか？

それとも、私はどちらなのでしょう？

あれ？ 人形様がいません。

あれ？ これは縄ですか？ それを首にかければいいんですね？

ええ、その後は私を引き下ろして下さいさるのですね。

流石は人形様です。

ええ。私？ 人形みたいですか？

ええ私は人間では無いかもしれませんが。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5658d/>

逆転人形

2010年10月10日06時18分発行